

今週の News

1. 理事会報告：上半期の予算執行状況
2. 25周年記念事業の募集開始
3. 全まち第1弾イベントの案内
4. 静岡支部/地域デザイン研究会の活動

「JSURP Newsβ版」の試み

JSURP の多様な活動の「予告・案内」と「結果」を迅速に会員相互で共有することを目的として JSURP Newsβ版を試行します。月2回発行予定
編集：渡会、中川、千葉、小谷

■理事会報告：2020年度上半期の予算執行状況

10月15日に第182理事会が開催されました。主要な議題は、25周年記念事業の開催運営と2020年度上半期の財務状況の二点です。

◆2020年度上半期の財務状況

JSURPの2020年度上半期(4-9月期)の執行状況は、収入が10,936千円、支出が11,036千円、収支合計では100千円のマイナスとなっています。

収入の内訳では会費・寄付収入が7,575千円、事業収入が1,361千円、その他(持続化給付金等)が2,000千円となっています。

支出では管理費が7,546千円、引越し費用が2,405千円、事業支出が1,490千円となっています。

◆2020年度下半期の見通し

下半期の見通しについては、支出は管理費と事業支出(見込み)で約19,000千円程度と見込まれています。下期期首時点で確定している事業収入等は概ね16,000千円であり、会費未納分を含めて概ね3,000千円程度の収益(寄付、自主事業、調査等の受託などを通じて)を確保することが必要と考えられます。

◆会費の納入状況

- 正会員 158名(うち23名が未納)
- 賛助会員(個人) 196名(うち34名が未納)
- 学生会員 17名(うち10名が未納)
- 団体賛助会員 10団体(未納は0)

※未納の方、会費納入よろしくお願ひします。

■JSURP25周年記念事業の募集開始

JSURP(日本都市計画家協会)の創立25周年記念事業がいよいよ12月5日(土)に開催されます。申し込みは全てPeatixサイトで受け付けています。

◆チケット申し込み Peatix 下記サイトより

参加費：会員・学生500円、一般1,000円

<https://peatix.com/event/1688854/view?k=26a9903e352a4a130f9423874525782921c99b85>

◆開催概要

日時：12月5日(土) 13時~16時30分
会場/方式：オンライン/会場

◆プログラム概要

第1部 記念講演(13:00~13:30)

伊藤 滋：「JSURP 設立の想いと今後への期待」

第2部 JSURP セッション(13:30~14:30)

「JSURP のこれまでと今後の展望」

第3部 25周年記念セッション(14:50~16:30)

「これからの社会と都市」

キーノートスピーチ

安宅 和人(慶應義塾大学環境情報学部教授)

セッション「これからの社会と都市」



認定特定非営利活動法人 日本都市計画家協会 25周年記念事業講演・シンポジウム
JSURP 25
2020.12.5 Sat 13:00~16:30
オンライン配信/丸ビルホール(人数限定)

第1部 13:00~13:30

記念講演「JSURP 設立の想いと今後への期待」

講演 伊藤 滋 (JSURP 創設者、東京大学名誉教授、慶應義塾大学名誉教授)



都市計画家、日本都市計画家協会初代会長、東京大学大学院工学部建築学専攻博士課程修了、工学博士、東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学で教鞭を執る。日本都市計画家協会、建設都市計画中央協議会会長、阪神・淡路復興委員会委員、内閣府都市再生戦略チーム座長などを歴任。

1993年に設立された日本都市計画家協会の25周年を記念し、これまでの四半世紀について初期から現在の会員を交え各ステージの取り組みを振り返るとともに、外部の識者も加え、今後の都市と社会のあり方や都市プランナーが果たすべき役割について展望します。

お申込(オンライン参加)

一般 ¥1,000

会員・学生 ¥500



<https://jsurrp25th.peatix.com>

問い合わせ先: JSURP 事務局

jmurakami@jsurrp.jp / 03-6811-7205

第2部 13:30~14:30

セッション「JSURP のこれまでと今後の展望」

モデレータ: 柳沢厚 (JSURP 元理事)

登壇者: 鳥栖那智夫(元副会長)、小澤一郎(元理事)、

菅原克(オイコス研究所/元副会長)、

石川良男(元副会長/IBS)、

内山征(理事/アルメックVPI)

総括: 小林英嗣(会長)、伊藤 滋



第3部 14:50~16:30

25周年記念セッション「これからの社会と都市」

キーノートスピーチ 安宅 和人

(慶應義塾大学環境情報学部教授/ヤフー(株)CSO)

モデレータ: 加藤孝明 (JSURP 理事/東京大学生産技術研究所)

ゲスト: 安宅 和人

登壇者: 小泉秀樹(東京大学)、鈴木俊治(ハーツ環境デザイン/芝浦工業大学)、

(JSURP) 賢徹(キャッセン大船渡)、長谷川隆三(フロントヤード)、高鍋剛(都市環境研究所/副会長)



東京大学大学院生物化学専攻修了後マッキンゼー入社。4年半の勤務後、イェール大学環境科学プログラムに入学。2001年秋、学芸奨励賞、武蔵野賞を経て2001年末マッキンゼー復帰に得意。帰国後総合科学技術イノベーション会議(CSST)基本計画専門調査会委員等役職を多岐取る。著書に「イノベーションはじめる-知財生産のシナジーの本質」(英学出版、2010.11)、「イノベーション」(NewsPicks/パブリッシング、2020)。

■全まち 2020-2021 第1弾イベント予告

新型コロナの影響を踏まえ、今年の全まちは2020年後半から2021年後半までの1年間を通じた連続企画で実施を予定しています。

◆2020年度の予定

- ①石巻分科会：12月13日（日）開催予定
- ②大槌分科会：1月24日（日）又は31日（日）予定
- ③気仙沼分科会：3月初旬を予定

3分科会とも、前泊（交流会）＋現地視察会＋復興セッションで構成、セッションはオンラインハイブリッドでの配信を行います。

◆全まち石巻分科会の開催概要（予定）

日時：12月13日（日）

午前：まち歩き、復興状況の視察

13時～17時30分：復興セッション（2部構成）

会場/方式：石巻市中心部（IRORIを予定）

オンライン／会場（会場は人数制限あり）

※全国各地からのオンライン参加を！

参加費：無料（事前登録制）

◆全まち石巻分科会プログラム（予定）

前夜：交流会（任意）

午前：中心市街地における主要な復興事業地区を視察

- ・被災市街地復興土地区画整理事業地区
- ・市街地再開発事業地区
- ・優良建築物等整備事業地区
- ・河川堤防事業 他

第1部 石巻の復興事業の成果と課題

石巻市の中心市街地における復興事業を振り返り、その成果と課題について、地元関係者（被災者、事業者）、行政、コンサルタント、学識者が各々の立場から忌憚のない意見を述べ合います。

第2部 市民駆動型復興まちづくりの成果と可能性

震災直後から石巻市では、被災者自身に加え各地から馳せ参じた様々な市民群による復興事業が展開されました。こうした「市民駆動型復興まちづくり」の当事者関係者の方々による、その成果と可能性、今後の展開に向けた提案などについて意見交換を行います。

■静岡支部まち歩きの開催予定

JSURP 静岡支部の恒例の企画、まち歩きを浜松駅南地区で開催します。ご興味のある方ぜひご参加下さい。

連絡先 静岡支部長 海野芳幸

Mail:Yoshi_unno@mckn.jp

日本都市計画家協会 静岡支部 主催

浜松駅南スロータウン フィールド ワーク

スローロード、スローフード、スロータウン。
環境と健康を意識した今までのまちづくりを
生かした、これからのまちづくりを考えます。
“古くて新しいことが最も新しい”
そんなまちづくりが動き出します。



2020年 11/21(土)

場 所：砂山町公会堂

定 員：15名程度（先着順。感染症対策のため、参加定員を減らして開催いたします。）

参加費：一般500円、家協会会員は無料

申込み：メールにて下記アドレスまでご連絡ください
(担当：海野 yoshi_unno@mckn.jp)

【第一回 地域主体のまちづくり】
プログラム

- 12:45～砂山町公会堂集合
- 13:00～各エリアのまちづくり活動報告
- 14:00～浜松駅南（砂山町）まち歩き
- 16:30～意見交換会（砂山町公会堂）
- 17:30～閉会

■地域デザイン研究会の活動

地域デザイン研究会は2019年に発足したJSURP内で最も新しい研究会です。このコロナ禍で現地を視察するなどの活動は控えているが、zoomを活用したリモートでの研究会を開催しています。研究会では会員自身が関わった景観計画等の事例報告をもとに参加者による意見交換を行う形で進められています。

2020年8月5日に行われた第4回研究会では大野整さんが小田原市における景観形成の事例紹介を行い、これをもとにリモート参加者による意見交換が行われました。

2020年10月19日に行われた第5回研究会では静岡支部長の海野芳幸さんより静岡県の掛川市遠州横須賀地区や伊豆の国市、下田市など5市における事例紹介を行い、次いで長野県在住の小林真幸さんから長野県及び安曇野市、小布施市等での事例紹介が行われ、これをもとにリモート参加者による意見交換が行われました。

次回は12月12日（土）に都内での現地まち歩きを兼ねた研究会を開催する予定です。

■11月前半の予定

- ①11月4日（水） 研究会協議会
- ②11月5日（木） 25周年記念事業委員会
- ③11月10日（火） まちづくり支援部会
- ④11月13日（金） まちづくりカレッジ004コース
- ⑤11月17日（火） まちづくりカレッジ001コース
- ⑥11月19日（木） まちづくりカレッジ002コース
- ⑦11月20日（金） 第183回理事会

25年間話し合いを重ね、町民主体で新たな街を考え、つくり上げてきた高滝地区。そして…21年間、朝市を開催しつづけてきた浜松唯一のアーケード街のある砂山銀座サザンクロス商店街。これからの新たな街の魅力を考える砂山町本通会。ウォーキング、ジョギング、サイクリングなど…自然に優しく体にいい、新たなスローな街づくりの魅力や問題点を皆さんと一緒に考える、浜松駅南地区のフィールドワークを開催いたします。

